

令和2年 林業における死亡災害

発生年	発生月	時刻	業種	規模	事故の型	起因物	災害の状況
2	1	15時台	林業	10人以上 29人	激突され	環7 境1 等2	被災者は、国有林内で同僚4名とチェーンソーを用いて、それぞれの持ち場で伐木作業を行っていた。近くで作業をしていた同僚が被災者のチェーンソーが転がっているのを見つけ様子を見に行ったところ、伐倒木(樹種:トドマツ、樹高:約20m、胸高直径:26cm)の下敷きになっている被災者を発見した。
2	5	14時台	林業	10人未満	激突され	環7 境1 等2	被災者は、農地の防風林伐開作業において、樹高約24.4mのヤチダモを伐倒していたところ、幹が裂けて跳ね上がり、頭部に激突したもの。
2	6	10時台	林業	10人未満	崩壊・倒壊	環7 境1 等2	被災者は、民有林の皆伐現場において、チェーンソーを使用してカラマツA(胸高直径37cm、樹高25m)の伐倒作業を行っていたところ、当該木の上方が別のカラマツB(胸高直径20cm、樹高17m)とつる絡みとなっていたためカラマツAが倒れた際にカラマツBも根むくれしていたため同時に倒れ、被災者がカラマツBの下敷きとなったもの。
2	12	0時台	林業	10人未満	墜落・転落	環7 境1 等2	被災者は、単独で民有林の枝打ち作業を行っていた。 後日、立木(トウヒ、胸高直径19.1cm)のそばで倒れているのを同僚に発見されたもの。 なお、立木には高さ1.1mの脚立が立掛けられていた。